

野口英世アフリカ賞

初のインパクトレポートを発行いたしました！



内閣府

[発行]

日本政府はアフリカの医療に希望の光を灯し続け、感染症との闘いに挑む研究者・医療者たちを支援しています。本レポートを通じてこれまでの受賞者たちが成し遂げてきた成果を紹介するとともに、アフリカの医療の未来に向けた展望をお伝えいたします。

日本語 English Français



第5回 受賞者

2025年8月 アフリカ開発会議 TICAD 9開催に合わせて授与

医学研究分野



「マラリアのないアフリカ」の実現を目指して
長年、マラリア制圧に取り組んできた研究者

アブドゥライ・ジムデ 博士

レ
ポ
ー
ト
は
こ
ち
ら
か
ら

医療活動分野

DNDi

「顧みられない病気」で苦しむ人々のために、
より安全で有効、かつ使い易く入手可能な価格の
治療薬・治療法を開発・提供する研究開発組織

DNDi（顧みられない病気の新薬開発イニシアティブ）



「アフリカの医療に希望の光を灯し続ける研究者・医療者たちとその挑戦」

Hideyo Noguchi Africa Prize IMPACT REPORT 2025

野口英世アフリカ賞 インパクトレポート 2025

Rapport d'Impact du Prix Hideyo Noguchi pour l'Afrique 2025



HIDEYO NOGUCHI
**AFRICA
PRIZE**



野口英世アフリカ賞とは

アフリカの地で黄熱病の研究途上で亡くなった野口英世博士の志を踏まえ、アフリカでの感染症等の疾病対策及び公衆衛生推進のため、医学研究および医療活動の各分野において顕著な功績を挙げた方々を顕彰し、もってアフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的とし、日本政府により2006年に創設されました。

表彰内容

医学研究分野、医療活動分野それぞれの受賞者に対し、表彰状、賞牌及び賞金（各分野1億円）を授与。

授賞頻度

3年ごとに開催されるアフリカ開発会議（TICAD）にあわせて授与。2025年8月に第5回授賞式開催。

過去受賞者の紹介

第1回受賞者



ブライアン・グリーンウッド博士

アフリカの地で30年、マラリア研究と人材育成で感染症対策を革新

国籍 英国

主な活動
エボラウイルス病/マラリア等の予防

第2回受賞者



ピーター・ピオット博士

HIV、女性の健康、世界的感染症の先駆的研究者であり、エボラウイルスの共同発見者

国籍 ベルギー

主な活動
感染症対策

第3回受賞者



ジャン=ジャック・ムエンベ=タムfum博士

コンゴの地からエボラウイルス病に挑み、アフリカの感染症研究を導く

国籍 コンゴ民主共和国

主な活動
エボラウイルス病の予防と治療

第4回受賞者



サリム・S・アブドゥル・カリム博士

アフリカにおけるHIV感染予防と治療の新たなアプローチにつながった先駆的なHIV研究

国籍 南アフリカ

主な活動
HIV感染予防と治療



カライシャ・アブドゥル・カリム博士

【医学研究分野】



ミリアム・ウェレ博士

地域に根ざした医療改革で、ケニアの公衆衛生に新しい道を拓く

国籍 ケニア

主な活動
地域の健康/福祉向上



アレックス・G・コウティノー博士

世界中の母子の未来を守り、医療ケアの希望を創る

国籍 ウガンダ

主な活動
HIV感染予防・治療活動



フランシス・ジャーバス・オマスワ博士

医療人材を育て、アフリカの保健システムを変革

国籍 ウガンダ

主な活動
人材育成と医療教育



ギニア虫症撲滅プログラム

ギニア虫症の撲滅へ、地域と共に持続可能な挑戦を続ける

国籍 米国（本部）

主な活動
ギニア虫症感染予防

【医療活動分野】

野口英世アフリカ賞基金のためのご寄付のお願い

皆様からのご支援は、アフリカでの医学研究や医療活動に取り組む方々の活動を通じて、人類全体の健康と福祉の向上に活かされます。私たちと共に、野口英世博士の志を未来へつないでいきます。

寄付に関するお問合せ

独立行政法人国際協力機構（JICA）
国内事業部 市民参加推進課 寄付金担当
メールアドレス：jicata-kifu1@jica.go.jp
フリーダイヤル：0800-100-5931
（受付時間 平日 10:00～12:30・13:30～17:00）

